

月刊 やちまなこ

2016.1.15 発行

No. 218

1 月号

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）だより



湿原散歩

暖冬の影響で、冬の風物詩である塘路湖のワカサギ釣りも3日遅れて8日、解禁となった。暖冬といっても朝の最低気温が20度近くまで下がる日には、川沿いのヨシや樹木は朝日を受けると一斉に銀色に輝く。厳冬の神が創り上げた作品を賛美するように、サルルンカムイが鳴いた。

コッタロ川と湿原のほとりから

187 2016 年1月のコッタロ湿原便り

コッタロ在住・中本 アキ子(文) 中本 民三(写真)

“一月の歴史に刻む暖気哉”。穏やかな年明けとなりました。“とめどなくわき出づる句やお正月”に初笑いが加わって、年末年始どっぷり浸っていたベーターベンが続きで、“クロイツェル聴きつつ拝す御来光”。の後、“ほどほどに來客ありて三ケ日”も過ぎ、6日（小寒）になってようやく今季最も低い-18℃を記録。ところが翌7日には再びぬるま湯の如きこの時季らしくない気温で“七草を狐狸（こり）丹頂と祝いけり”。こうして瞬く間に過ぎ去った羊年を振り返るいと間もなしに突入したサル年は、“三度目の十年日記書き初める”ことから始まって、いよいよ“老い”を意識しなければならなくなった“衰えし我身素直に見定めて今年こそはと日の出に誓う”毎日です。

一方、子別れを一月後（2月9日）に控えている丹頂双家族8羽に異変は見られず、今迄順調に育ってきたことを慶び乍ら、一羽も欠けることなく無事に巣立って行ってくれるよう祈らずにいられません。“夕焼けに丸ごと染まる寒のツル”。に魅せられております。

又、庭のバードテーブルに目をやると雀 30 羽余りの小群が陣取っていた脂身に大型のキツツキが入替わっていて、“山ゲラにエサ場ゆずりて寒雀”や暮れなずむ時刻に決まって現われ、丹頂等の残り餌を二人占めしていた“寒中にじゃれ合う夫婦（めおと）狸哉”がいたり仲良し三頭組みの“目出度さを分かちトリプル狸哉”がいたり賑やかでしたが、8日を境にパッタリ現われなくなっております。そろそろ山で出産の準備かな？

さて、雪が非常に少ないコッタロの積雪はゼロと云えましょう。只、12月に降った2cmばかりの雪もうすくなって大地は白く見え、それがまるで粉糖をふりかけて仕上げるケーキ（シャルロット・ルース）そっくりの状態で、思わず、スポンジケーキを焼き土台を拵えてしまった位です。それでは、本年も何卒よろしく御愛読のほどを・・・。



湿原の住人たち その178

エンコウソウ

2016年の干支にちなみ、和名に猿の字が付く植物「猿猴草」を紹介します。猿猴がサル類の総称で、長く伸びた花茎をテナガザルに見立てて名付けられたそうです。春に黄色い花を咲かせて湿原や水辺に彩りを添えてくれます。この辺りでは、サルルン沼付近で5月中旬に花を咲かせますが、観察のしやすさでは、温根内木道がベストです。ヤチブキの名で知られるキンポウゲ科のエゾノリュウキンカに似ていますが、エンコウソウのほうが小ぶりで、花茎は上に伸びずに地面を這うように広がります。にっこり笑ったお猿さんがお出ましするのは5～6月です。



新春の空を彩る連凾



自然ふれあい行事「連凾を作って揚げよう」を9日に開催しました。当日参加した5家族16名は、講師の日本の凾の会会員の菊地利長さんから凾の作り方について教わりながら、凾を3～4枚つなげて完成させました。

早速屋外に出て凾糸を伸ばすと、するすると風に乗れ、まるで吸い込まれるように青空へ、描いた文字や今年の干支のおサルさんのイラストなどが空に映えていました。

子供たちの歓声とともに、大人も子供の頃を懐かしむように凾揚げを楽しんでいました。

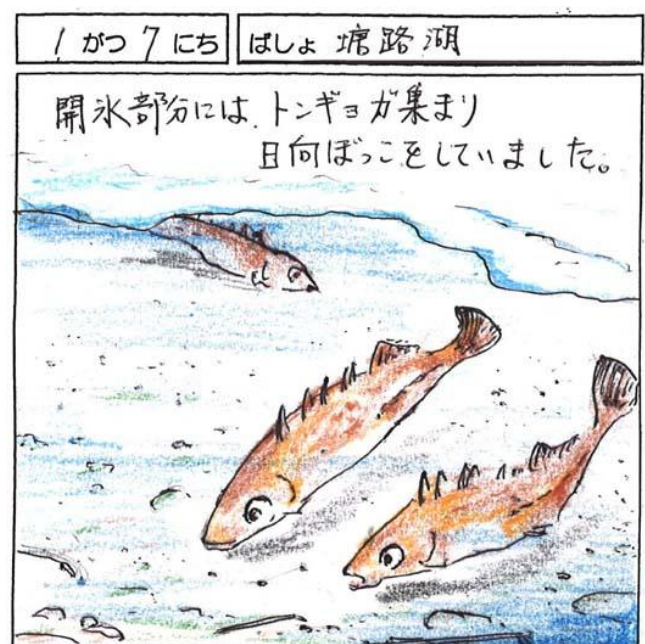
←「爺ちゃん揚がったよ～」と喜ぶ参加者

つぼっちの塘路湖周辺うろうろ日記 Vol.84「塘路湖の氷下ワカサギ釣り、無事解禁！」

あけましておめでとうございます。今年は昨年末から暖冬の影響で塘路湖の全面結氷が遅く、冬の風物詩でもあるワカサギ釣りの開始が危ぶまれていましたが、1月上旬より冷え込みが強くなると共に、氷も厚くなり無事にワカサギ釣りが解禁されました。地元の漁師さんに聞いたところ、これだけ暖かくまた結氷が遅かったのは初めての事だと話していました。昨年10～12月に行われたワカサギ漁も、湖水温度が高かったために不漁だったそうです。

ワカサギ漁は湖水温度に影響を受けるそうで、湖水温度が高いとアメマスやウグイが活発に動きまわりワカサギの群れが散らされるため漁獲が減るのだそうです。しかしワカサギそのものの量が減ったわけではないので、「今年の冬はたくさんのワカサギが塘路湖にいるぞ」と漁師さんが話していました。本年の塘路湖ワカサギ釣り、一味違うかもしれません！

坪岡 始（標茶町郷土館学芸員）



各行事とも事前の申込が必要です

♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ 申し込み問い合わせは 塘路湖エコミュージアムセンターまで TEL 015-487-3003

申し込み問い合わせは 温根内ビジターセンターまで TEL 0154-65-2323

【その他】(12/25)塘路湖氷の厚さ 2 cm (12/27)キタキツネとエゾリスの足跡 (1/5)塘路湖氷の厚さ 18~20 cm
(1/8)ワカサギ釣り解禁(3日遅れ) (1/11)氷紋 (1/12)標茶町の今季の最低気温氷点下 19.6 度を記録

- 積雪後の道路は圧雪アイスバーン状態になる場合があります。車の方も徒歩の方も、時間に余裕をもって移動しましょう。また、日没前後の道路はエゾシカの飛び出しが多くなります。
- 湖上散策ができる氷の厚さになりました。ワカサギ釣り指定場所の範囲内でも、湖岸や御神渡し、湧き水付近は一部氷が薄い所があります。防寒対策を万全にして、十分に気を付けてお楽しみください。

◆日出・日入時間 1/15(6:51, 16:12). 1/31(6:39, 16:32). 2/14(6:23, 16:51)



氷紋と鳥の足跡 (1/11)

休館日:毎週水曜日 12月29日～1月3日 入館無料